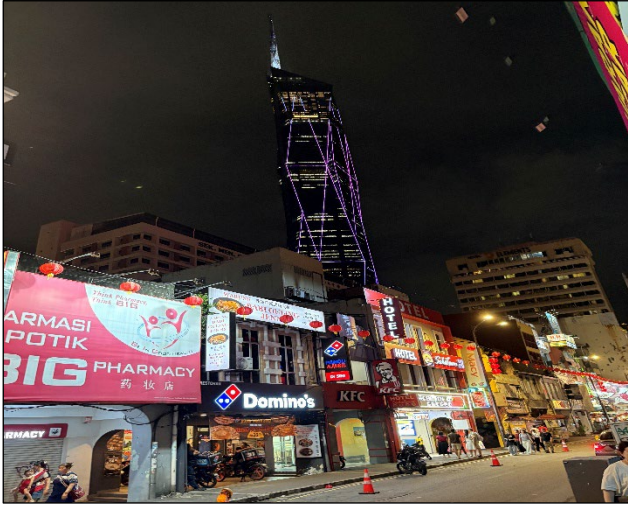


# OMU Students 海外留学レポート



氏名 緒方 裕基  
所属 経済学部 経済学科  
学年 1年

留学先 マラヤ大学  
留学期間 2026/2/15~2026/3/8

## 留学レポート Study Abroad Report

今回私はマラヤ大学 Summer Enrichment Program に参加しました。私がこのプログラムに参加した理由は主に3つあります。1つ目は、自分の英語力を向上させたかったからです。日本で英語を学ぶときは英語を読むことや書くことに偏ってしまい、スピーキングやリスニングの力があまりつかないように感じていました。そこで、実際に英語を話す国に行き、日常的に英語を使わなければならない環境に身を置きたいと考えました。2つ目は、異文化に触れてみたかったからです。日本とは異なる文化や価値観に触れることで、自分の視野を広げ、現地での生活を通じて、多様な考え方を学びたいと思いました。3つ目は、自分自身を成長させるためです。日本とは違い慣れない環境に身を置くことで、行動力を高め、また、海外では日本語が通じないので様々な困難があると考え、それを乗り越える経験をしたと考えました。

私が考える留学の大きなメリットは、語学力の向上です。今回私が行ったのは、短期留学なので完璧に英語ができるようになったわけではありませんが、現地で生活することで、日常的に英語を使う環境に身を置くことができるため、授業だけでなく買い物や友人との会話などを通して実践的な英語を学ぶことができます。また、海外の友達ができることもこのプログラムの大きなメリットだと考えます。このプログラムでは、現地の学生と授業や外出など一日中一緒にいるときが多いのでたくさん交流することができ、留学を終えてからも友人関係を維持することができます。一方で、デメリットとしては、最初のうちは言語の壁によるストレスを感じる事が挙げられます。自分はプログラムの序盤、まだ英語に慣れていないため、授業の内容を理解することや日常会話をスムーズに行うことが難しく、不安を感じる事がありました。また、現地の学生と話すときに自分の思っていることを十分に表現できないことがあり、自信を失ってしまう場面もありました。しかし、このような困難を乗り越える経験ができることも留学のいいところであると思うし、自分自身を成長させることができると思います。

私がこのプログラムに参加して一番よかったと思うことは、たくさんの現地の学生と話せたことです。私が参加したプログラムには、ローカルバディと呼ばれる現地の学生が17名いて、そのうちの一人が自分のグループにいます。自分のグループのローカルバディとは一緒に行動する時間が長いので、たくさん交流することができますが、中には全く一緒に行動しないローカルバディもいます。私はいろんなローカルバディと交流したかったので、自分から積極的に話しかけました。何人かのローカルバディとは、ホテルのロビーでウノやトランプをして遊びそこで仲良くなることができました。現地の学生はとてもやさしく、フレンドリーで楽しく会話することができるので、いろんなローカルバディと交流したかったら自分から積極的に話しかけていくことが大切だと思います。

また、一日がとても充実しているのもこのプログラムのよかったところだと思います。平日の午前中は1コマ2時間の授業が2コマあります。授業はとてもアクティブで楽しい時間が多くあったように感じました。自分が一番印象に残っているのはスピーキングの授業で行った人狼ゲームです。自分の意見を英語で言うのは少し難しかったが英語を話す練習になったし、とても盛り上がったので一番楽しいと感じました。それ以外にも授業中はたくさん英語を話す機会があるのでミスを恐れずに積極的に話していくことが大切だと思います。そして午後は選択で音楽かダンスの授業を受けます。自分は音楽を選択し、太鼓を担当したのですが最初のほうは音楽経験がなかったので不安もあったが、先生に丁寧に教えてもらえるし練習を重ねていくうちにリズムがとれるようになり、発表本番でもうまくいけたのでとても楽しかったし、音楽経験がなくてもあまり心配する必要はないと感じました。夜はグループでご飯を食べに行ったり買い物したりします。ローカルバディがマレーシア料理を食べに連れて行ってくれるので現地の食事を楽しむことができました。また、クラブで食べ物を届けてもらい、ホテルでみんなと一緒に食べたりピクニックに行ったりもしました。本当に一日が濃くてとてもあっという間に時間が過ぎていくように感じました。また、マレーシアの観光地もたくさんまわることができます。私は、ペトロナスツインタワー、バトゥ洞窟、マラッカ、ピンクモスクなどマレーシアの代表的な観光地に行くことができたのでとてもよかったです。プログラムの終わりのほうにはローカルバディや他大学の日本人の友達に手紙を書きました。別れを惜んでいる人がたくさんいて中には日本に戻りたくないと言っている学生もいました。そのくらいとても濃い3週間を過ごすことができたことと改めて実感した瞬間でもありました。

このプログラムが終わってもローカルバディとの友人関係は維持することができます。自分は今でも何人かのローカルバディと連絡を取ります。海外の友達をつくりたいと思ったのがこのプログラムに参加した理由の1つでもあったのでそれができてとてもうれしいしこのプログラムの良さだと思います。また、プログラムの前と後で英語を学ぶモチベーションも上がったように感じます。その理由としてもっと英語が上達してたくさんの外国人と楽しく会話ができるようになりたいと思ったからです。今度もしかするとローカルバディと会える機会があるのでさらに英語力を向上させて成長した姿で会いたいと強く思ったのでこのプログラムが自分にとって英語の勉強を継続していこうと思えたきっかけになっています。最後にこのプログラムに参加するか悩んでいる人、検討している人はぜひ参加してみることをお勧めします。3週間という短い期間なので英語を完璧にマスターすることは難しいですが、少しでも上達はすると思うし、大学生活の思い出の一つに必ずなります。海外で生活することは苦勞することもあるし慣れないことも多いと思うがなかなか経験できないことであるし、自分自身を成長させられる機会にもなります。マレーシアにはいろいろな系統の人が住んでいて、異文化に触れることができ、日本とは違った価値観を知ることができるので、自分の考え方や視野が広がると思います。また、現地の学生だけでなく他大学の子とも仲良くなれ、いろいろなつながりを持つことができ、自分はこのプログラムを通してコミュニケーション能力が少し上がったと感じました。このように短期留学でも貴重な経験がたくさんできるし、最初は慣れないことのほうが多く不安を感じることもあるかもしれませんが絶対に自分にとってプラスになることのほうが多いし、3週間終わった時にはこのプログラムに参加して良かったときっと思えるので、留学を少しでも考えている人や何かに挑戦してみたい人にはぜひ参加してほしいと思います。